

(学校番号226)

令和6年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【日進中学校】

①	今年度の課題と授業改善策	
	学習上・指導上の課題	授業改善策【評価方法】
知識・技能	<学習上の課題>生徒の主体的な取組で、自ら学習の見直しを立てた学びを充実させる力に差異がある。 <指導上の課題>一人1台タブレットが実現されていない状況もあり、ICTを活用した反復演習での個々に応じた基礎基本事項の習得が定着しにくい。	⇒ 「エバンジェリスト委員会」を課業内に設け、「SSDB」「スタディサプリ」を活用した反復演習を学校全体の取組として、朝読書の時間で定期的に行う。【週1回実施】各教科で「スタディサプリ」を意図的に取り組む。【相談室・自習課題として】副教材の活用と併せて、個々の課題を自ら設定し、主体的な学びを実感できるようにする。【R6さいたま市学習状況調査「PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。」について、肯定的回答の割合を65%以上とする】
思考・判断・表現	<学習上の課題>設問文の読解力や記述の表現力を高める必要がある。話し合い活動での積極性に差異がある。 <指導上の課題>各授業での話し合い活動の中で教え合い、まとめたり、発表したり、言語活動を繋げて発展させる必要がある。	⇒ 全教科領域で生徒の主体的な問題解決力向上の手立てとして、話し合い活動を取り入れた授業で、「話す、聞く、書く、読む」の言語活動の取組を共同して行えるようにする。【R6さいたま市学習状況調査「学ぶことや働くことの意味を考えたり、今、学校で学んだことと、自分の将来とのつながりを考えたりしていますか。」について、肯定的回答が75%以上】主体的・対話的で深い学びの継続により育成した主体性を学級活動に繋げて活かす。【R6さいたま市学習状況調査「学級生活をよりよくなるために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。」について、肯定的回答が85%以上】

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	授業改善策の達成状況	授業改善策【評価方法】
知識・技能			
思考・判断・表現			

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

⑤	評価(※)	授業改善策の達成状況
知識・技能		
思考・判断・表現		

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	
思考・判断・表現	

※評価

A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一步)